

資料編

- I 総務企画班業務
- II 地域保健班業務
- III 健康推進班業務
- IV 生活環境班業務
- V 学生実習
- VI 受入研修
- VII 研修・講習



I 総務企画班業務

1 管内人口の状況

(1) 市町村別人口の推移

年次	管内総数	宮古島市	平良市	城辺町	下地町	上野村	伊良部町	多良間村
昭和25年	74,668	—	30,897	16,514	6,427	5,547	11,483	3,800
昭和30年	75,392	—	32,716	16,605	6,177	5,783	10,815	3,296
昭和35年	72,339	—	32,506	15,433	5,703	5,005	10,796	2,896
昭和40年	69,825	—	32,591	14,559	5,206	4,603	10,263	2,603
昭和45年	60,953	—	29,721	12,053	4,022	3,739	9,132	2,286
昭和50年	57,762	—	29,301	10,883	3,116	3,493	9,164	1,805
昭和55年	60,464	—	32,924	10,203	3,017	3,500	9,153	1,667
昭和60年	60,167	—	33,406	9,671	2,921	3,502	9,035	1,632
平成2年	57,458	—	33,124	8,564	2,892	3,227	8,155	1,496
平成7年	56,248	—	33,387	7,896	3,045	3,179	7,424	1,317
平成12年	55,805	—	33,726	7,649	3,206	3,183	6,709	1,332
平成17年	55,200	—	34,190	6,879	3,225	3,274	6,236	1,396
平成18年	54,442	53,127	—	—	—	—	—	1,315
平成19年	54,021	52,734	—	—	—	—	—	1,287
平成20年	53,626	52,352	—	—	—	—	—	1,274
平成21年	53,478	52,222	—	—	—	—	—	1,256
平成22年	53,452	52,203	—	—	—	—	—	1,249
平成23年	53,209	52,024	—	—	—	—	—	1,185
平成24年	53,122	51,959	—	—	—	—	—	1,163
平成25年	53,036	51,885	—	—	—	—	—	1,151
平成26年	52,732	51,614	—	—	—	—	—	1,118
平成27年	52,441	51,356	—	—	—	—	—	1,085
平成28年	52,164	50,997	—	—	—	—	—	1,167
平成29年	52,343	51,180	—	—	—	—	—	1,163
平成30年	52,456	51,299	—	—	—	—	—	1,157
令和元年	53,289	52,176	—	—	—	—	—	1,113

資料：沖縄県企画部統計課HP「沖縄県統計資料WEBサイト」各年10月1日時点の人口（平成17年は9月1日時点）

(2) 市村別人口の構成

各項目	面積 (Km ²) A	人 口			性比 B/C×100	人口密度 (人/Km ²) (B+C)/A	世帯数 D	1世帯 当たりの人口 (B+C)/D
		男 B	女 C	総数 B+C				
管内	226.27	26,507	26,782	53,289	98.97	236	24,618	2.16
宮古島市	204.27	25,912	26,264	52,176	98.7	255	24,159	2.16
多良間村	22.00	595	518	1,113	114.9	51	459	2.42

※面積は国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和元年10月1日時点

※人口及び世帯数は沖縄県企画部統計課ホームページ「沖縄県統計資料WEBサイト」令和元年10月1日時点

2 管内人口動態

(1) 人口動態統計について

ア 調査の目的と沿革

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

人口動態調査は、明治31年「戸籍法」が制定され登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、同32年から人口動態調査票は1件につき1枚の個別票を作成し、中央集計をする近代的な人口動態統計制度が確立された。その後、昭和22年6月に「統計法」に基づき「指定統計第5号」として指定され、その事務の所管は同年9月1日に総理庁から厚生省に移管された。さらに、平成21年4月からは、新「統計法」（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査となっている。

イ 調査の対象、客体及び抽出方法

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としている。また、全数調査である。

ウ 調査事項

人口動態調査票は、出生票、死亡票、死産票、婚姻票、離婚票の5種であり、その概要は次のとおりである。

- (ア) 出生票：出生の年月日、場所、体重、父母の氏名及び年齢等出生届に基づく事項
- (イ) 死亡票：死亡者の生年月日、住所、死亡の年月日等死亡届に基づく事項
- (ウ) 死産票：死産の年月日、場所、父母の年齢等死産届に基づく事項
- (エ) 婚姻票：夫妻の生年月、夫の住所、初婚・再婚の別等婚姻届に基づく事項
- (オ) 離婚票：夫妻の生年月、住所、離婚の種類等離婚届に基づく事項

エ 調査の時期

調査該当年の1月1日から同年12月31日まで

オ 調査の方法

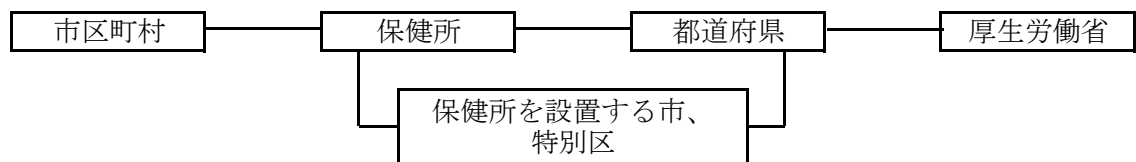
- (ア) 市区町村長は、出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出を受けたときは、その届書等に基づいて人口動態調査票を作成し、これを保健所の管轄区域によって当該保健所長に送付する。

保健所長は、市区町村長から提出された調査票を取りまとめ、毎月、都道府県知事に送付する。

この場合、保健所を設置する市の保健所長は、当該市の市長を経由する。

都道府県知事は、保健所長から提出された調査票の内容を審査し、厚生労働大臣に送付する。

- (イ) 報告の系統図



- (ウ) 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行う。

(2) 用語の説明及び比率の解説について

ア 自然増減・・・出生数から死亡数を減じたものをいう。

イ 乳児死亡・・・生後1年未満の死亡をいう。

ウ 新生児死亡・・・生後4週未満の死亡をいう。

エ 早期新生児死亡・・・生後1週未満の死亡をいう。

オ 死産・・・妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。

* 自然死産と人工死産

人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。

なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。

(ア) 胎児を出生させることを目的とした場合

(イ) 母体内の胎児が生死不明か、又は死亡している場合

カ 周産期死亡・・・妊娠満22週（154日）以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいう。

キ 出生・死亡・婚姻・離婚率

(年間事件数÷10月1日現在人口)×1,000

ク 自然増加率

{(年間出生数－年間死亡数)÷10月1日現在人口}×1,000

ケ 死産率

{年間死産数÷(年間出生数＋年間死産数)}×1,000

コ 乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率

(年間死亡数÷年間出生数)×1,000

サ 周産期死亡率

{年間周産期死亡数÷(年間出生数＋年間妊娠満22週以後の死産数)}×1,000

シ 合計特殊出生率

合計特殊出生率とは、15歳～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子供の数に相当する。

[年齢別出生数(5歳階級別)÷年齢別女子人口(5歳階級別)]の総和(15～49歳までの7階級)×5

(3) 結果の公表などについて

おおむね、毎年9月上旬ごろに前年の人口動態調査の確定数が公表される。詳細については、厚生労働省のホームページを参照のこと。

(参) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>

また、毎年10月上旬ごろ、保健所活動概況作成目的での人口動態調査票情報が提供される。これを受けて、管内死因別死亡者数などを作成、公表する。

なお、保健所活動概況の公表時期は毎年8月ごろを目処としているため、確定数の公表は、当保健所ホームページ上で行う予定である。

(参) <http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/hoken-miyako/index.html>

(4) 人口動態統計の概要

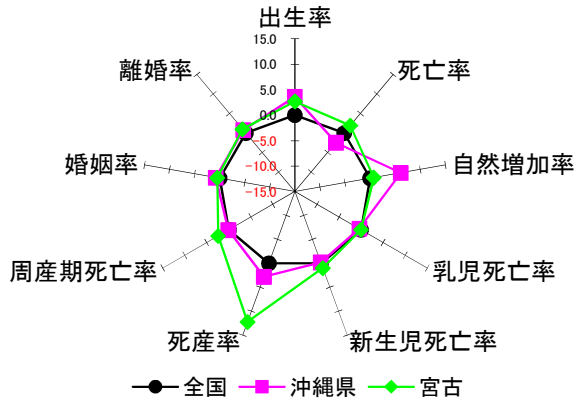
* 人口動態については前年の数値を計上。確定値は宮古保健所ホームページにて公表予定。

平成30年

項目	実数・率			率(%)			沖縄県 全国順位
	実数(人、組)	率	率	全国	沖縄県	宮古	
出生	918,400	15,732	525	7.4	11.0	10.1	1位
死亡	1,362,470	12,157	674	11.0	8.5	12.9	47位
自然増減	△ 444,070	3,575	△ 149	△ 3.6	2.5	△ 2.9	-
乳児(生後1年未満)死亡	1,748	24	1	1.9	1.5	1.9	38位
新生児(生後4週未満)死亡	801	11	1	0.9	0.7	1.9	33位
死産	19,614	382	18	20.9	23.7	33.1	6位
自然死産	9,252	182	10	9.9	11.3	18.4	-
人工死産	10,362	200	8	11.0	12.4	14.7	-
周産期死亡	2,999	53	3	3.3	3.4	5.7	23位
妊娠満22週以後の死産	2,385	46	2	2.6	2.9	-	-
早期新生児死亡	614	7	1	0.7	0.4	-	-
婚姻	586,481	7,887	271	4.7	5.5	5.2	2位
離婚	208,333	3,618	140	1.7	2.5	2.7	1位

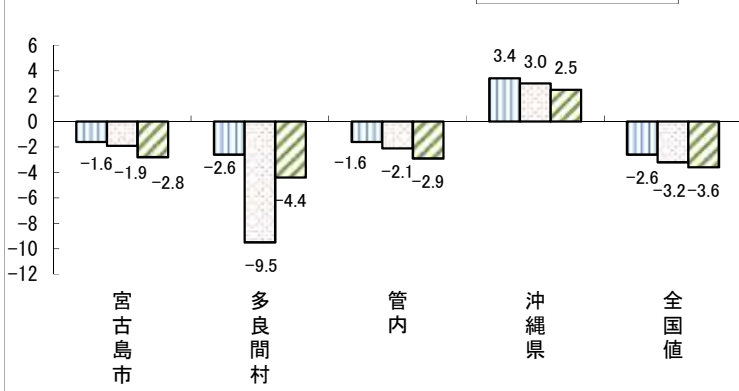
(出典)平成30年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(R1.12月公表)

図1. 人口動態レーダーチャート(平成30年)



人口動態統計で使用される主な指標を用いて、全国を基準として沖縄県及び宮古管内の値がどの位置にあるのかを示している。

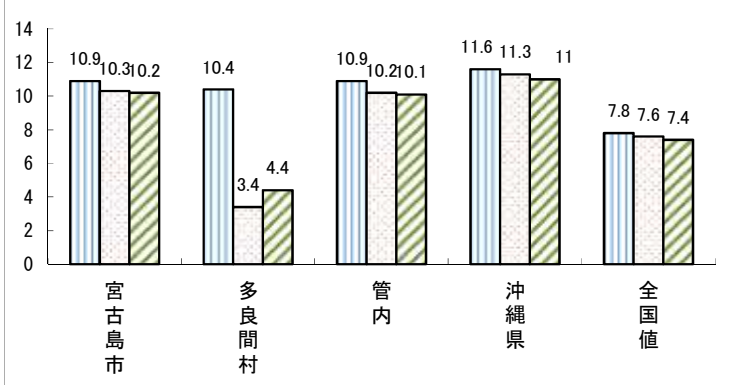
図2. 自然増加率(市村別・過去3年)



自然増加率の動向

自然増加率は、全国的に減少傾向にある。管内の数値は、沖縄県と比較すると大きく下回っている。

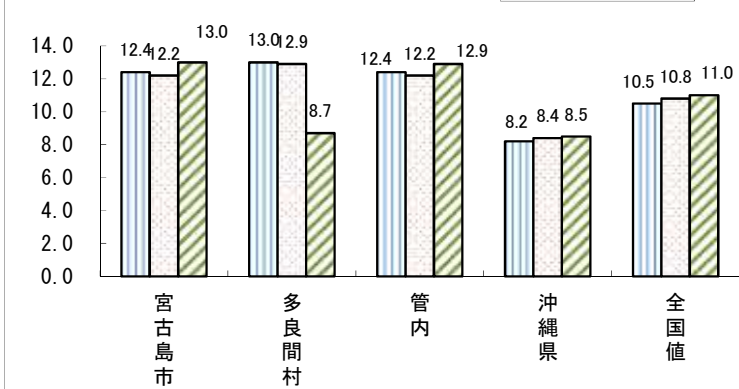
図3. 出生率(市村別・過去3年)



出生率の動向

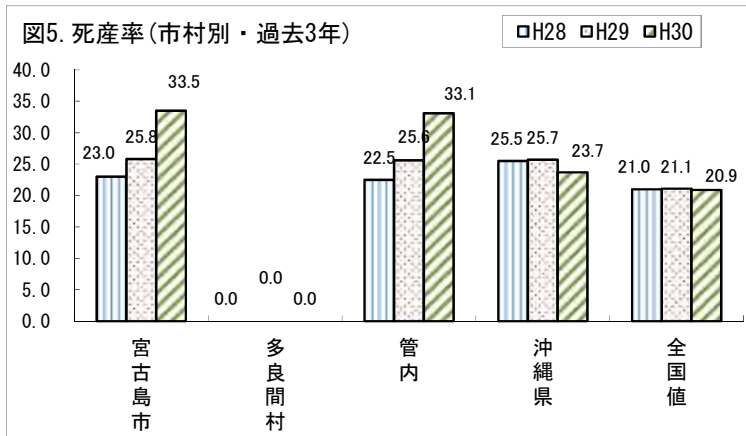
管内の出生率は、沖縄県と比べると若干低いですが、全国値を大きく上回っている。全国、沖縄県、管内ともに減少傾向である。

図4. 死亡率(市村別・過去3年)



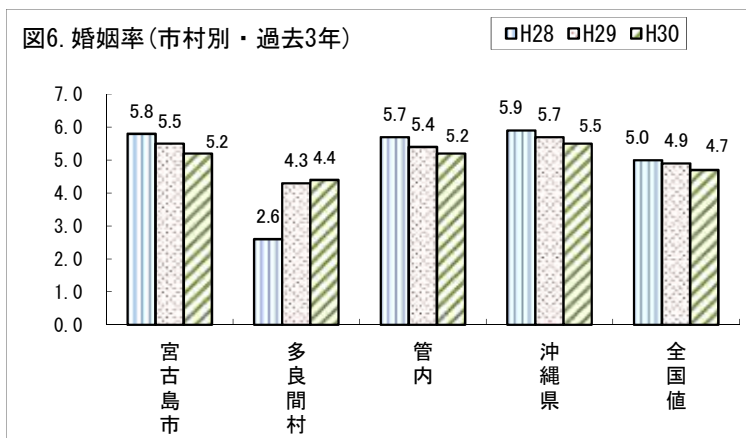
死亡率の動向

管内の死亡率は、全国及び沖縄県と比較すると人口の高齢化を反映して高い数値で推移している。全国及び沖縄県は若干の増加傾向にある。



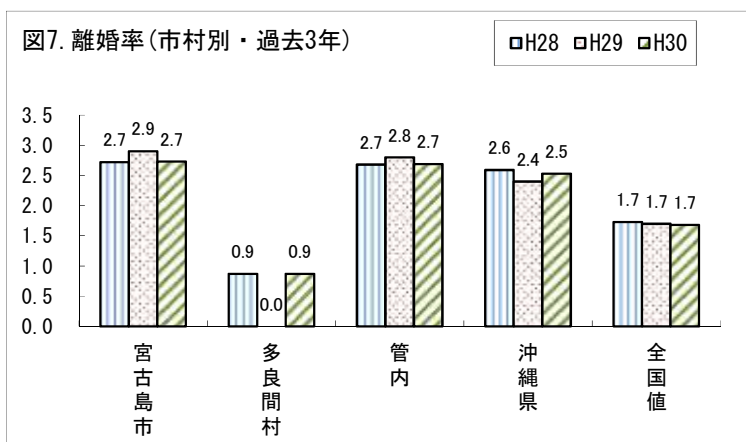
死産率の動向

管内の数値は、平成30年は沖縄県の数値を大きく上回った。管内、沖縄県は全国と比較して高い。



婚姻率の動向

管内の数値は、沖縄県よりやや低く、全国よりやや高い。沖縄県及び全国も減少傾向にある。



離婚率の動向

管内の離婚率は、沖縄県及び全国よりも高い数値となっている。

(5) 平成30年人口動態総覧(市村別)

* 人口動態については前年の数値を計上。

ア 人口動態総覧

単位：人、件

項目 市村	出生児数			死亡者数			(再掲)乳児死亡者数				死産胎数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	(再掲)新生児死亡者数	自然	人工	計	後期	早期	計		
宮古島市	268	252	520	348	316	664	1	0	1	1	10	8	18	2	1	3	266	139
多良間村	3	2	5	7	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
管内	271	254	525	355	319	674	1	0	1	1	10	8	18	2	1	3	271	140

○乳児死亡：生後1年未満の死亡

○新生児死亡：生後4週未満の死亡 ○死産：妊娠満12週以後の死児の出産

○周産期死亡 後期：妊娠22週以後の死産

早期：生後1週間未満の死亡

(出典)平成30年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(R1.12月公表)

イ 人口動態総覧(率)

単位：%

項目 市村	出生率	死亡率	(再掲)乳児死亡者数		死産率	周産期死亡率	婚姻率	離婚率	
			(再掲)乳児死亡率	(再掲)新生児死亡率					
宮古島市	H29年	10.3	12.2	-	-	25.8	1.9	5.5	2.8
	H30年	10.2	13.0	1.9	1.9	33.5	5.7	5.2	2.7
多良間村	H29年	3.4	12.9	-	-	-	-	4.3	0.0
	H30年	4.4	8.7	-	-	-	-	4.4	0.9
管内	H29年	10.2	12.2	-	-	25.6	1.9	5.4	2.8
	H30年	10.1	12.9	1.9	1.9	33.1	5.7	5.2	2.7

(出典)平成30年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(R1.12月公表)

(6) 管内合計特殊出生率(平成23~30年)

* 人口動態については前年の数値を計上。

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
宮古管内	2.28	2.42	2.16	2.11	2.57	2.32	2.20	2.12
沖縄県	1.86	1.90	1.94	1.86	1.96	1.96	1.94	1.89
全国	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42

(出典)①沖縄県及び全国：平成30年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(R1.12月公表)

②管内：未公表のため、当保健所において算出した。

※合計特殊出生率とは、15歳~49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子供の数に相当する。

計算式：〔年齢別出生数(5歳階級別)÷年齢別女子人口(5歳階級別)〕の総和(15~49歳までの7階級)×5

※年齢別出生数(5歳階級別)については、平成30年人口動態調査結果(確定数)出生表5-1-47「出生数、性・母の年齢(5歳階級)・都道府県・保健所別」(厚労省HP参照)を参照した。

※平成22~平成26年の基準女子人口は平成22年の国勢調査資料を、平成27年以降の基準女子人口は平成27年の国勢調査資料を参照した。

(7) 人口動態総覧の年次推移(管内分)

* 人口動態については前年の数値を計上。

単位：人、組

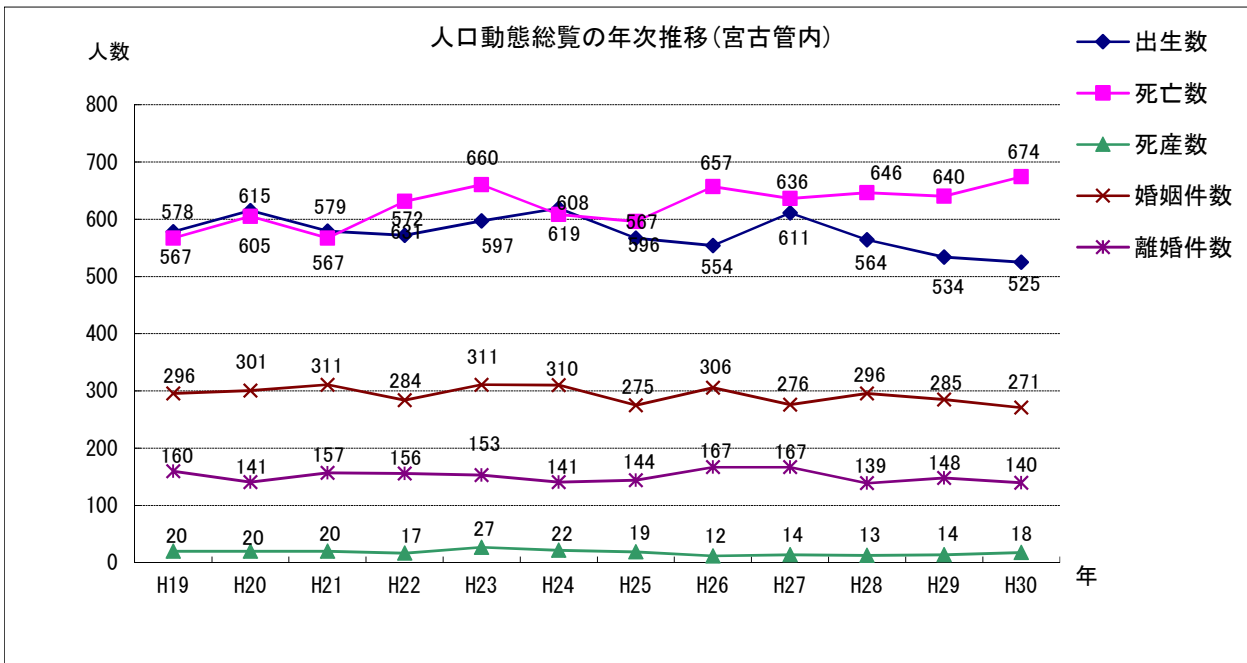
	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	対前 年比
管内人口	<u>54,021</u>	53,626	53,478	53,452	53,209	53,122	53,036	52,732	52,441	52,164	52,343	52,456	113
出生数	578	615	579	572	597	<u>619</u>	567	554	611	564	534	525	-9
男	309	304	295	310	305	300	293	300	314	297	262	271	9
女	269	311	284	262	292	319	274	254	297	267	272	254	-18
死亡者数	567	605	567	631	660	608	596	657	636	646	640	<u>674</u>	34
男	292	328	323	343	346	329	322	341	323	352	372	355	-17
女	275	277	294	288	314	279	274	316	313	294	268	319	51
乳児 死亡者数	1	1	1	<u>5</u>	1	2	0	1	0	2	0	1	1
男	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1
女	0	1	1	2	1	1	0	1	0	2	0	0	0
新生児 死亡者数	1	0	1	<u>3</u>	1	1	0	0	0	2	0	1	1
死産胎数	20	20	20	17	<u>27</u>	22	19	12	14	13	14	18	4
自然	12	10	11	8	8	8	4	4	2	3	5	10	5
人工	8	10	7	9	19	14	15	8	12	10	9	8	-1
周産期 死亡数	2	2	<u>5</u>	<u>5</u>	2	4	1	1	0	2	1	3	2
後期	2	2	5	3	2	4	1	1	0	0	1	2	1
早期	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1
婚姻 件数	296	301	<u>311</u>	284	<u>311</u>	310	275	306	276	296	285	271	-14
離婚 件数	160	141	157	156	153	141	144	<u>167</u>	<u>167</u>	139	148	140	-8

※太字下線付は、平成19年～平成30年までの最高値を表している。

※管内人口については、各年10月1日時点。

(出典)①管内人口：沖縄県企画部統計課HP「沖縄県統計資料WEBサイト」

②その他：平成30年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(R1.12月公表)

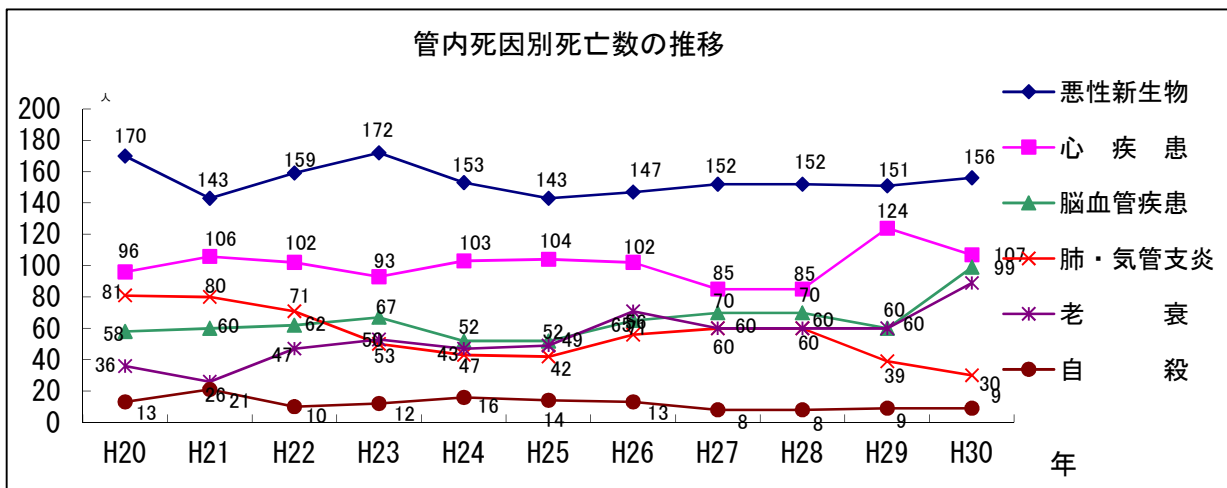


(8) 死亡の状況

* 人口動態については前年の数値を計上。

ア 死亡者数(死因別、市村別) 平成30年

死 因	総数	宮古島市	多良間村
結 核	0	0	0
悪性新生物	156	154	2
糖 尿 病	9	8	1
高血圧性疾患	8	8	0
心 疾 患	107	107	0
脳血管疾患	99	97	2
肺炎・気管支炎	30	30	0
胃・十二指腸潰瘍	0	0	0
肝 疾 患	15	15	0
腎 不 全	8	8	0
老 衰	89	86	3
不慮の事故	16	16	0
自 殺	9	9	0
そ の 他	128	126	2
合 計	674	664	10



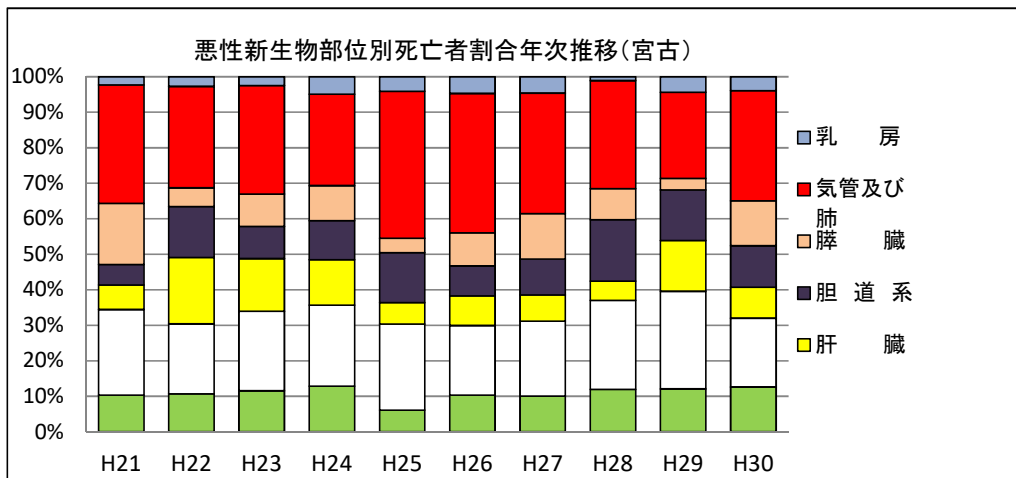
イ 死亡者数(年代別、市村別) 平成30年

年代	総数	宮古島市	多良間村
10歳未満	2	2	0
10歳-19歳	3	3	0
20歳-29歳	0	0	0
30歳-39歳	5	5	0
40歳-49歳	17	16	1
50歳-59歳	30	30	0
60歳-69歳	92	91	1
70歳-79歳	84	82	2
80歳-89歳	227	224	3
90歳以上	214	211	3
合 計	674	664	10

ウ 悪性新生物死亡者数

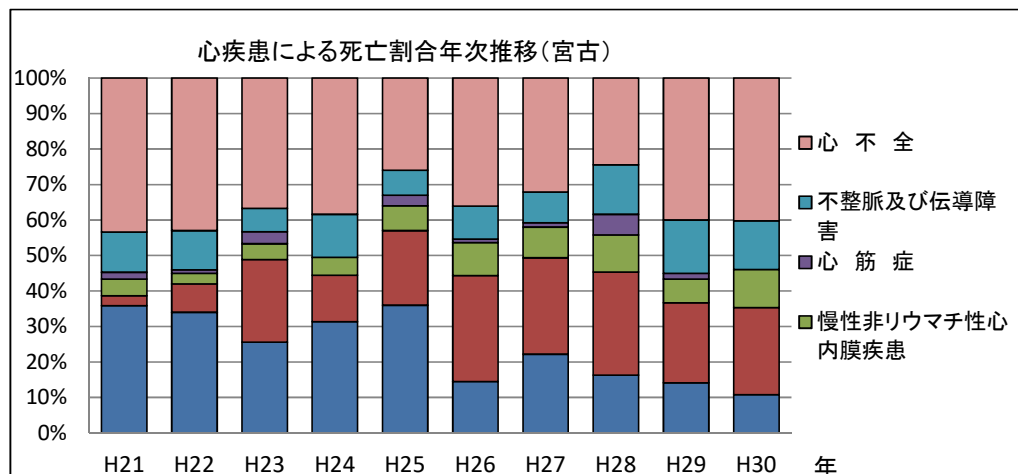
(部位別、市村別：平成29年・平成30年)

悪性新生物 部 位	総数		宮古島市		多良間村	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30
食 道	7	5	6	5	1	0
胃	11	13	10	13	1	0
結 腸	15	14	15	14	0	0
直 腸	10	6	10	6	0	0
肝 臓	13	9	13	9	0	0
胆 道 系	13	12	13	12	0	0
膵 臓	3	13	3	13	0	0
気管及び肺	22	32	21	31	1	1
乳 房	4	4	4	4	0	0
子 宮	2	3	1	3	1	0
白 血 病	8	2	8	2	0	0
そ の 他	43	43	41	42	2	1
合 計	151	156	145	154	6	2



エ 心疾患による死亡者数(種別、市村別：平成29年・平成30年)

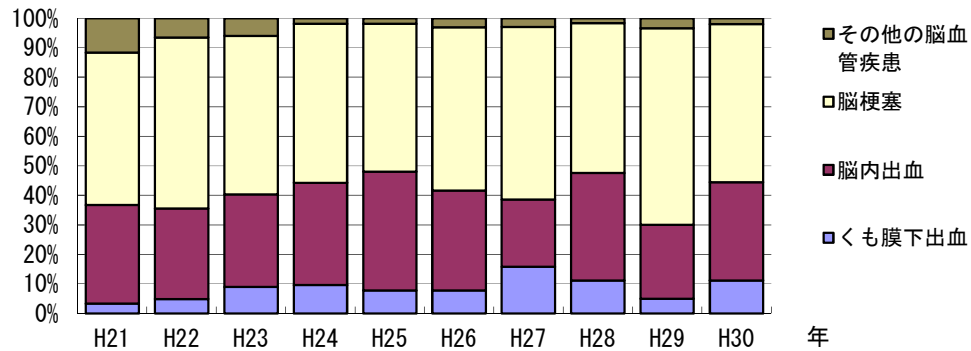
死 因	総数		宮古島市		多良間村	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30
慢性リウマチ性心疾患	0	1	0	1	0	0
急性心筋梗塞	17	11	17	11	0	0
その他の虚血性心疾患	27	25	27	25	0	0
慢性非リウマチ性心内膜疾患	8	11	8	11	0	0
心筋症	2	0	2	0	0	0
不整脈及び伝導障害	18	14	18	14	0	0
心不全	48	41	46	41	2	0
その他の心疾患	4	4	4	4	0	0
合 計	124	107	122	107	2	0



オ 脳血管疾患による死亡者数(種別、市村別：平成29年・平成30年)

脳血管疾患 死因種別	総数		宮古島市		多良間村	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30
くも膜下出血	3	11	3	11	0	0
脳内出血	15	33	15	33	0	0
脳梗塞	40	53	39	51	1	2
その他の脳血管疾患	2	2	2	2	0	0
合計	60	99	59	97	1	2

脳血管疾患による死亡者割合年次推移(宮古)



II 地域保健班業務

1 母子保健

(1) 主な母子事業の変遷

年	乳幼児健康診査及び専門健診、療育相談事業	思春期保健事業
昭和49年	乳幼児一斉健診開始 (厚生省医療技術支援)	
昭和57年	巡回療育相談開始	
昭和62年	心臓検診	
平成2年	特殊健診 ・遺伝専門健診・心理相談 ・未熟児健診・アレルギー健診 ・療育相談	
平成3年	聴力、言語療育相談 (愛の小鳩事業団)	
平成9年	乳幼児健診 (市町村で実施)	H8年終了
平成10年	母子保健クリニック開設	
平成12年	自閉症相談 (厚生省医療技術支援)	
平成13年		思春期保健講演会開始 (厚生省医療技術支援)
平成15年	遺伝相談 (県内医師)	H14 巡回療育相談・訓練事業 県障害福祉課がふれあいの里へ委託 (窓口は「さぼーと」)
平成16年	自閉症児の療育・相談 (コロメソッドによる)	H16 心臓検診 →宮古病院で専門外来として実施
平成17年	H17年終了	思春期ピアエデュケーション
平成18年		思春期保健 ピアカウンセリング開始
平成19年	自閉症相談 県費で継続	思春期保健 ピアカウンセラーの育成
平成20年		思春期保健教育研究会立ち上げ (事務局:宮古福祉保健所)
平成21年	発達障害児等相談と改称	巡回思春期相談の開始
平成23年		第1回思春期フェスティバル開催
平成24年	H24年終了	第4回思春期フェスティバル開催 保健所での事務局を終了
平成25年	長期療養児相談	宮古島市思春期保健教育研究会 として再発足 (事務局:宮古島市健康増進課)
平成26年		
平成27年	ダウン症児親の会	
平成28年	H28年終了 発達障害児の支援体制整備を行った	
平成29年		
平成30年		
平成31年		

2 難病対策

(1) 受給者証交付状況詳細

令和元年度

疾病名	交付件数	新規	更新	男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	宮古	多良間
筋萎縮性側索硬化症	7	3	4	4	3	0	0	1	0	0	3	3	7	0
進行性核上性麻痺	8	2	6	6	2	0	0	0	0	0	4	4	8	0
パーキンソン病	53	4	49	33	20	0	0	0	0	0	14	39	52	1
大脳皮質基底核変性症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
重症筋無力症	15	0	15	8	7	0	1	2	2	1	6	3	15	0
多発性硬化症／視神経脊髄炎	3	0	3	2	1	0	0	0	2	0	0	1	3	0
慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	4	0	4	2	2	0	1	0	1	0	0	2	4	0
多系統萎縮症	5	1	4	4	1	0	0	0	0	0	4	1	5	0
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	4	0	4	2	2	0	0	0	0	2	2	0	4	0
もやもや病	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
亜急性硬化性全脳炎	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
全身性アミロイドーシス	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0
神経線維腫症	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
天疱瘡	6	1	5	3	3	0	0	0	1	3	2	0	6	0
膿疱性乾癬(汎発型)	4	0	4	2	2	0	0	2	1	0	1	0	4	0
高安動脈炎	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
結節性多発動脈炎	3	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0
顕微鏡的多発血管炎	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0
悪性関節リウマチ	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0
原発性抗リン脂質抗体症候群	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
全身性エリテマトーデス	22	0	22	0	22	0	1	1	6	4	7	3	21	1
皮膚筋炎／多発性筋炎	9	1	8	1	8	0	0	0	0	1	4	4	9	0
全身性強皮症	5	2	3	0	5	0	0	0	0	0	3	2	5	0
混合性結合組織病	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
シェーグレン症候群	4	0	4	1	3	1	0	0	0	0	3	0	4	0
成人スチル病	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
ベーチェット病	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
特発性拡張型心筋症	7	0	7	5	2	0	0	2	0	0	4	1	7	0
再生不良性貧血	6	0	6	3	3	0	0	1	1	1	1	2	5	1
発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
特発性血小板減少性紫斑病	3	2	1	0	3	0	0	0	0	0	2	1	3	0
IgA 腎症	2	0	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1
多発性嚢胞腎	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
黄色靭帯骨化症	11	1	10	8	3	0	0	0	0	2	3	6	11	0
後縦靭帯骨化症	26	3	23	18	8	0	0	0	2	5	9	10	25	1
広範脊柱管狭窄症	9	0	9	6	3	0	0	0	0	1	4	4	9	0
特発性大腿骨頭壊死症	5	0	5	3	2	0	0	1	2	0	1	1	4	1
クッシング病	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
下垂体前葉機能低下症	6	0	6	3	3	0	1	1	1	0	0	3	6	0
サルコイドーシス	2	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0	2	0
特発性間質性肺炎	8	2	6	7	1	0	0	0	0	0	4	4	7	1
肺動脈性肺高血圧症	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0
網膜色素変性症	24	0	24	12	12	0	0	0	5	3	11	5	24	0
原発性胆汁性胆管炎	8	2	6	0	8	0	0	0	0	1	2	5	8	0
原発性硬化性胆管炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
クローン病	16	1	15	11	5	0	4	3	6	0	2	1	16	0
潰瘍性大腸炎	26	2	24	17	9	0	1	5	6	3	5	6	26	0
筋ジストロフィー	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
脊髄髄膜瘤	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
家族性良性慢性天疱瘡	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
一次性ネフローゼ症候群	6	1	5	4	2	0	1	1	0	0	2	2	6	0
紫斑病性腎炎	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
強直性脊椎炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
後天性赤芽球病	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	2	1	3	0
アッシャー症候群	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
計	352	33	319	182	170	1	13	25	38	37	117	121	345	7
構成比(%)	100.0	9.4	90.6	51.7	48.3	0.3	3.7	7.1	10.8	10.5	33.2	34.4	98.0	2.0

Ⅲ 健康推進班業務

1 結核対策

図1 新登録患者の罹患率年次推移

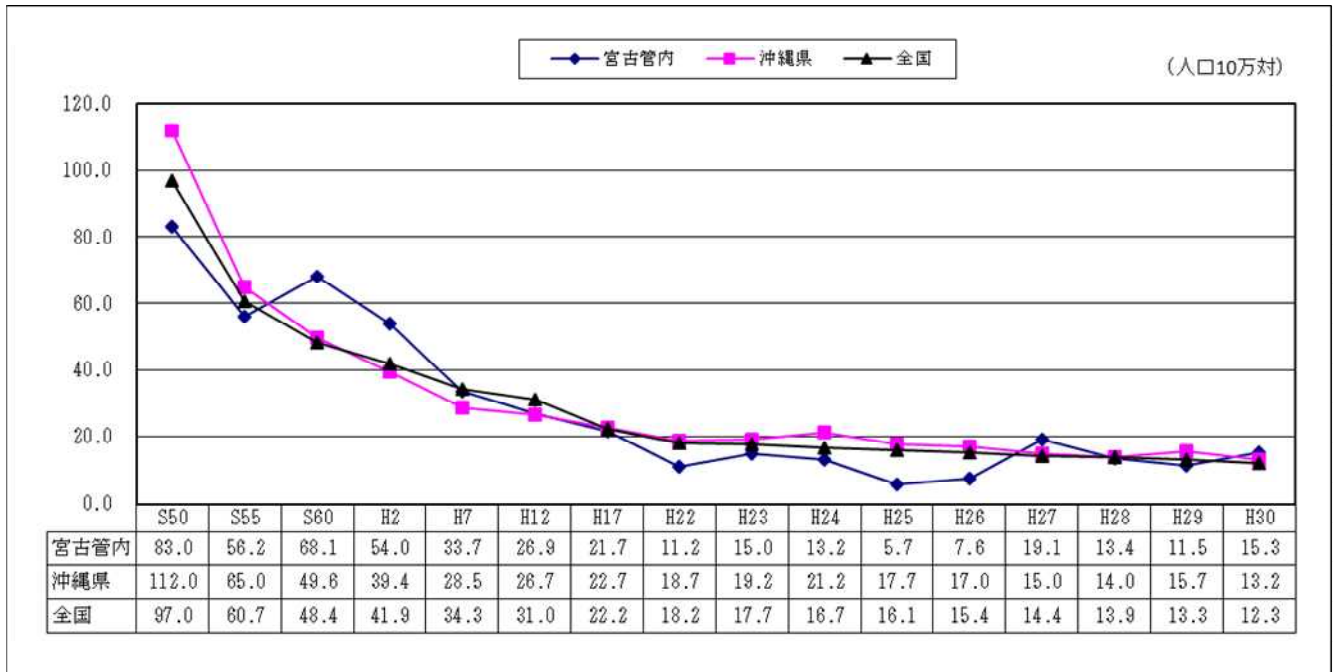


表1 新登録患者の年齢階級別状況

令和元年

区分	総数	活動性肺結核				活動性肺外結核	不明	潜在性結核感染症(別掲)
		総数	感染性		菌陰性			
			喀痰塗抹陽性	その他の菌陽性				
年次別								
年齢階級別計	35	27	6	8	13	8	0	27
0～4歳	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	1	1	0	0	1	0	0	2
30～39歳	1	1	0	0	1	0	0	4
40～49歳	2	2	0	0	2	0	0	7
50～59歳	6	6	0	1	5	0	0	8
60～69歳	1	0	0	0	0	1	0	3
70～79歳	4	2	0	2	0	2	0	2
80～89歳	9	7	3	2	2	2	0	1
90歳以上	11	8	3	3	2	3	0	0

図 2 新登録患者の年齢階級別状況

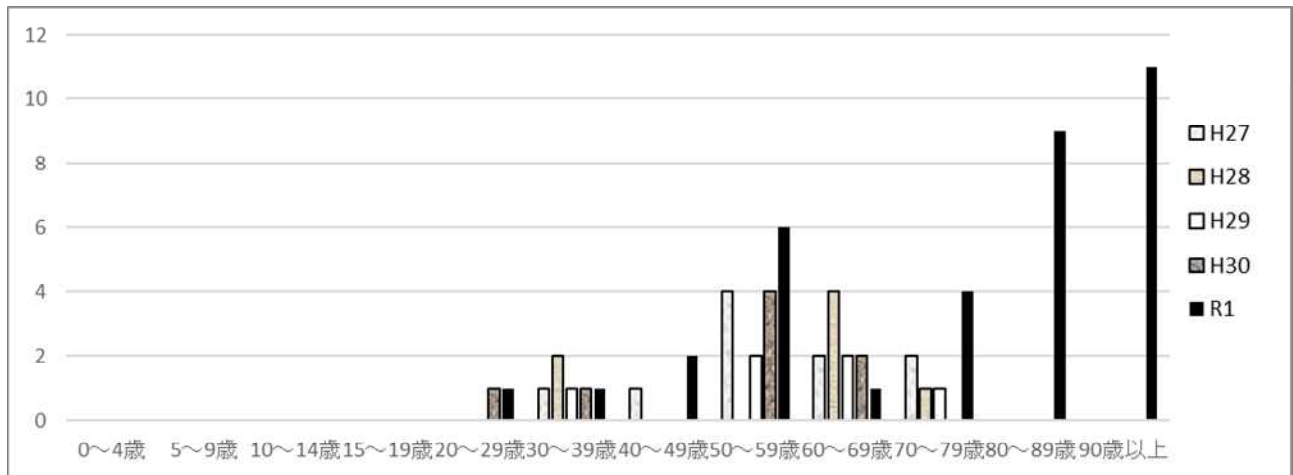


表 2 結核死亡状況

結核死亡率：‰（千分率）

	宮古管内				沖縄県		全国	
	全死亡数	結核死亡数	結核死亡率	人口	結核死亡数	結核死亡率	結核死亡数	結核死亡率
S50年	411	1	2.4	57,762	52	5.0	10,567	9.5
55年	406	2	4.9	60,464	39	3.5	6,429	5.5
60年	375	3	5.0	60,333	28	2.4	4,692	3.9
H2年	461	2	3.5	57,455	32	2.6	3,659	3.0
7年	416	1	2.4	56,248	31	2.4	3,178	2.6
12年	463	1	2.2	55,805	23	1.8	2,650	2.1
17年	517	0	0.0	55,186	17	1.2	2,295	1.8
22年	631	1	1.6	53,452	23	1.7	2,126	1.7
23年	631	3	4.8	53,209	37	2.6	2,162	1.7
24年	608	3	4.9	53,122	42	3.0	2,105	1.7
25年	596	0	0.0	53,036	27	1.9	2,084	1.7
26年	657	1	1.5	52,732	24	1.6	2,099	1.7
27年	625	1	1.6	52,441	22	1.5	1,955	1.6
28年	631	1	1.5	52,164	14	1.0	1,889	1.5
29年	629	0	0.0	52,343	30	2.1	2,306	1.9

表 3 定期予防接種実施状況 令和元年度

	DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）・DT（ジフテリア・破傷風）							ポリオ			
	第Ⅰ期				第Ⅱ期			I P V（不活化）			
	初回接種			追加接種	DT（ジフテリア・破傷風）			I 期初回			I 期追加
	1回目	2回目	3回目					1回目	2回目	3回目	4回目
	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数	対象者数	被接種者数	接種率	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数
宮古島市	0	0	0	0	603	499	82.8%	0	0	0	2
多良間村	0	0	0	0	15	15	100.0%	0	0	0	0
宮古管内	0	0	0	0	618	514	83.2%	0	0	0	2

	DPT-IPV（4種混合）									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	536	525	97.9%	519	96.8%	514	95.9%	571	503	88.1%
多良間村	5	5	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	6	5	83.3%
宮古管内	541	530	98.0%	524	96.9%	519	95.9%	577	508	88.0%

	MR（麻しん・風しん）						BCG（結核）		
	第1期			第2期			対象者数	被接種者数	接種率
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率			
宮古島市	576	523	90.8%	590	540	91.5%	533	537	100.8%
多良間村	6	3	50.0%	12	11	91.7%	5	5	100.0%
宮古管内	582	526	90.4%	602	551	91.5%	538	542	100.7%

	日本脳炎										
	第1期						第2期				
	対象者数	初回接種				追加接種			対象者数	被接種者数	接種率
		1回目		2回目		対象者数	被接種者数	接種率			
被接種者数		接種率	被接種者数	接種率							
宮古島市	567	473	83.4%	468	82.5%	644	475	73.8%	580	224	38.6%
多良間村	10	10	100.0%	10	100.0%	12	9	75.0%	15	0	0.0%
宮古管内	577	483	83.7%	478	82.8%	656	484	73.8%	595	224	37.6%

	Hib感染症									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	545	531	97.4%	518	95.0%	481	88.3%	538	468	87.0%
多良間村	7	6	85.7%	5	71.4%	5	71.4%	4	4	100.0%
宮古管内	552	537	97.3%	523	94.7%	486	88.0%	542	472	87.1%

	肺炎球菌感染症 (小児がかかるものに限る)									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	545	532	97.6%	520	95.4%	498	91.4%	538	484	90.0%
多良間村	7	6	85.7%	5	71.4%	5	71.4%	4	4	100.0%
宮古管内	552	538	97.5%	525	95.1%	503	91.1%	542	488	90.0%

	HBV(B型肝炎)						
	対象者数	初回接種				追加接種	
		1回目		2回目		3回目	
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率
宮古島市	545	518	95.0%	498	91.4%	470	86.2%
多良間村	7	6	85.7%	5	71.4%	3	42.9%
宮古管内	552	524	94.9%	503	91.1%	473	85.7%

	水痘					
	1回目			2回目		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	538	502	93.3%	571	451	79.0%
多良間村	4	4	100.0%	6	5	83.3%
宮古管内	542	506	93.4%	577	456	79.0%

	HPV (ヒトパピローマウイルス感染症)			
	対象者数	1回目	2回目	3回目
		被接種者数		
宮古島市	1615	0	0	0
多良間村	46	0	0	0
宮古管内	1661	0	0	0

	肺炎球菌感染症 (高齢者がかかるものに限る)			インフルエンザ (高齢者がかかるものに限る)		
	65歳 ※経過措置含む			65歳以上		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	882	611	69.3%	14,138	5,961	42.2%
多良間村	18	23	127.8%	333	249	74.8%
宮古管内	900	634	70.4%	14,471	6,210	42.9%

3 多目的コホート研究

(1) 目的

多目的コホート研究は、1990年に始まった大規模で長期にわたる観察型の疫学研究である。独立行政法人国立がん研究センターのがん研究開発費※を原資に2018年現在も追跡調査が続けられている。どのような生活習慣・環境をもつ人が、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などになりやすいのか、あるいはなりにくいのかを明らかにすることを目的としている。

※2009年までは厚生労働省がん研究助成金による

(2) 対象（コホートⅡ：1993年研究開始）

1993年に、旧平良市及び旧城辺町に在住する40歳以上70歳未満の方（大正12年1月1日から昭和27年12月31日に生まれた方）14,109名を対象に、市町村の住民基本台帳より抽出した。

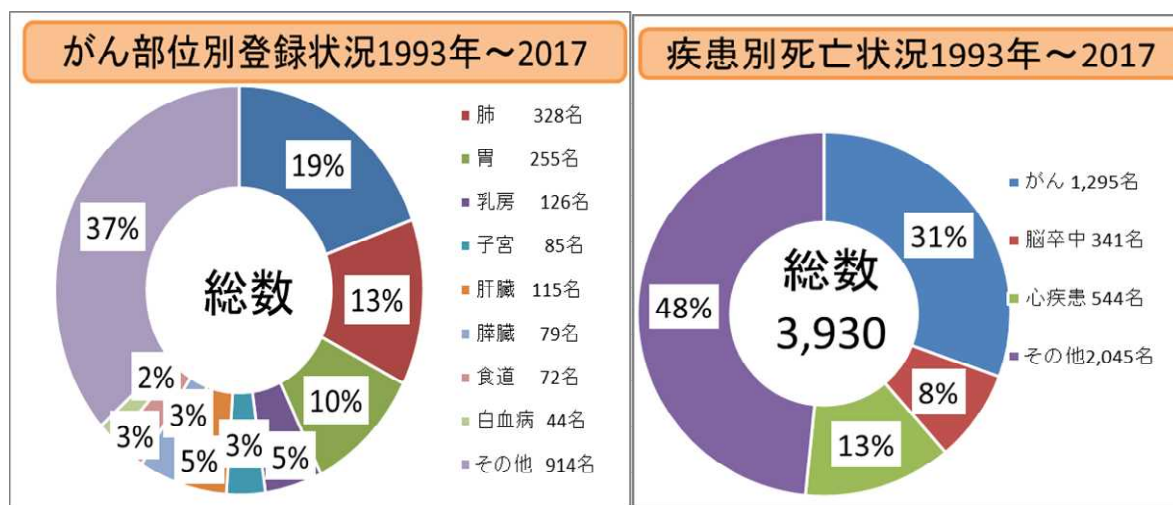
(3) 内容

独立行政法人国立がん研究センターがん研究事業を実施するため、宮古保健所長が分担研究者となり、宮古地域の住民調査を実施している。現在の主な業務としては、コホート対象者の異動情報処理、死亡情報処理、がん登録処理、その他関連業務を実施している。

(4) 宮古地域のがん罹患および疾患別死亡状況

図3 がん罹患（1993年-2017年）

図4 疾患別死亡状況（1993年-2017年）



IV 生活環境班業務

1 血液関係

赤十字血液センターによる献血事業が年に2回実施されており、高校生を対象とした献血も年1回実施されている。

表1 地区別 献血実績（平成27～令和元年度）（単位：人）

	年度	予定人員	受付者数	不適格者数	献血の種類				予定人員に対する献血者の割合(%)
					200mL	400mL	成分	合計	
平良地区	平成27年度	1,160	1,529	327	11	1,191	0	1,202	103.6
	平成28年度	1,215	1,536	327	15	1,194	0	1,209	99.5
	平成29年度	1,325	1,575	268	14	1,293	0	1,307	98.6
	平成30年度	1,085	1,330	208	6	1,116	0	1,122	103.4
	令和元年度	995	1,324	168	10	1,146	0	1,156	116.2
城辺地区	平成27年度	95	86	13	0	73	0	73	76.8
	平成28年度	80	92	13	2	77	0	79	98.8
	平成29年度	40	44	5	0	39	0	39	97.5
	平成30年度	20	32	3	0	29	0	29	145.0
	令和元年度	20	20	0	0	20	0	20	100.0
下地地区	平成27年度	100	92	12	0	80	0	80	80.0
	平成28年度	65	62	12	0	50	0	50	76.9
	平成29年度	20	13	1	0	12	0	12	60.0
	平成30年度	20	21	0	0	21	0	21	105.0
	令和元年度	20	20	1	0	19	0	19	95.0
上野地区	平成27年度	145	148	17	0	131	0	131	90.3
	平成28年度	120	164	17	1	146	0	147	122.5
	平成29年度	125	137	17	1	119	0	120	96.0
	平成30年度	100	119	8	0	119	0	119	119.0
	令和元年度	195	238	11	0	227	0	227	116.4
伊良部地区	平成27年度	65	73	18	0	55	0	55	84.6
	平成28年度	50	59	18	3	38	0	41	82.0
	平成29年度	40	28	6	0	22	0	22	55.0
	平成30年度	25	31	3	0	28	0	28	112.0
	令和元年度	-	-	-	-	-	-	-	-

※多良間村は未実施

資料：沖縄県赤十字血液センター

表2 高等学校別 献血実績（平成27～令和元年度）（単位：本）

	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計
伊良部高等学校	0	23	23	3	12	15	0	11	11	-	-	-	-	-	-
宮古高等学校	3	57	60	0	65	65	7	51	58	3	60	63	2	51	53
宮古総合実業高校	-	-	-	0	27	27	2	42	44	0	29	29	5	28	33
宮古工業高等学校	0	26	26	1	2	3	1	25	26	1	24	25	0	22	22
合計	3	106	109	4	106	110	10	129	139	4	113	117	7	101	108

資料：沖縄県赤十字血液センター

V 学生実習

NO	実習生所属	実習期間	時間	学生数	実習目的
1	沖縄県立看護大学 (4年次)	令和元年9月24日	8	4	沖縄県における衛生行政の中核を担う保健所の機能、役割を学ぶ

VI 受入研修

NO	研修名 (委託先)	実習期間	時間	研修生数	実習目的
1	なし	—	—	—	—

Ⅶ 研修・講習

NO	実施月日	研修・講習名	場 所	受講対象者	開催回数	研修・講習講師	担 当 班
1	H31.4.4	第35回全日本トライアスロン宮古島大会食料部衛生講習会	宮古島市総合体育館	第35回全日本トライアスロン宮古島大会弁当・オーダブル製造業者	1	生活環境班技師	生活環境班
2	H31.4.10	第35回全日本トライアスロン宮古島大会A・Sボランティア責任者講習会	宮古島市総合体育館	第35回全日本トライアスロン宮古島大会A・Sボランティア責任者	1	生活環境班技師	生活環境班
3	R1.7.12	「オリオンピアフェスト2019 in宮古」テナント説明会	JTAドーム会議室	オリオンピアフェスト出店予定業者	1	生活環境班技師	生活環境班
4	R1.8.22	環境法令講習会	宮古合同庁舎2階講堂	・県及び市村担当者	1	生活環境班技師	生活環境班
5	R1.11.6	食品表示講習会	宮古島市中央公民館	食品取扱業者	1	生活環境班健康推進班技師	生活環境班
6	R1.7.25 R2.1.24	食品衛生責任者養成講習会	宮古保健所2階大会議室	食品衛生責任者養成希望者	2	生活環境班技師	生活環境班
7	R2.2.28	令和元年度宮古地域第2回研修会 (産業廃棄物関連の適正処理について)	宮古合同庁舎2階講堂	・農林土木関係事業者 ・建設関係業者	1	生活環境班技師	生活環境班
8	H31.4.18 R1.5.16 R1.6.20 R1.7.18 R1.8.22 R1.9.19 R1.10.17 R1.11.17 R1.12.19 R2.1.16 R2.2.20 R2.3.19	浄化槽設置者講習会	宮古合同庁舎2階講堂	浄化槽設置者	12	生活環境班技師	生活環境班

VIII 研究実績

No.	報告月日	研究テーマ	学会名等	研究者
1	R1. 7. 19	カンピロバクター食中毒の原因施設への指導について	沖縄県衛生監視員研究発表会	○久田和佳奈、前川龍太、玉代勢旦子、高江洲由美子 三輪英一、中込秀子、吉田哲、宮里義久